

日本の生きるべき新しいパラダイムと材料学

日時：2010年1月29日(金) 13時～18時 会場：日本学術会議 講堂

開催趣旨

我が国は、課題解決先進国である。今後数十年の課題が大人国国の経済爆発と付随する環境問題であるのであればこのインパクトを最小限に緩和することで世界に貢献すべきである。すなわち、顕在化している中国、インドにおける環境劣化に対する対応技術指導、リサイクルを前提とした材料開発、またそのプロセス開発、あるいは極めて入手容易な素材による最低性能製品の製造技術開発とコンセプト提供などで我が国の材料科学を広める。その一方で、重要な技術開発を国内で積み上げ、エネルギーと鉱物資源の開発と延命を初め、難病の克服と快適な老後の実現、世界の貧困と紛争の撲滅、食料の十分な確保のため、教育と研究で貢献することである。そのためには、我が国で国内外の人材の育成を行い、世界における我が国の存在の強さを高める必要がある

大学の研究において、材料工学の名目的な人的配置はそれほど減少していないが、従来の古典的構造材料の力学的性質やそれらの生産技術、製錬などからバイオマテリアル、電子デバイス、ナノマテリアル、エネルギーデバイス等へ大きく拡張されていることに留意する必要がある。世界の材料科学でもっとも網羅的な研究体制を取りつつ、低い国家的支援と国家としての方針なき研究戦線をとっているといえる。世界の材料研究と材料生産技術を俯瞰した上で材料工学委員会が窓口となり、今後の指針を得るために、本シンポジウムを開催し、議論する。

開会の辞：独立行政法人物質・材料研究機構 理事 日本学術会議材料工学委員会委員長 馬越 佑吉

基調講演：司会 独立行政法人物質・材料研究機構 理事 馬越 佑吉

13:10-13:40 世界の研究動向と我が国の材料工学の進むべき方向性

独立行政法人物質・材料研究機構 顧問

東京大学 名誉教授 岸 輝雄

講演：司会 東北大学 副学長 岡田 益男

13:40-14:10 環境調和型「高度エネルギーフロー」実現のための革新的材料技術

東京工業大学応用セラミックス研究所 教授 細野秀雄

14:10-14:40 先端医療のための革新的材料技術

東京女子医科大学先端生命医科学研究所 所長 岡野光夫

14:40-15:10 社会基盤の安全安心化のための革新材料技術

東京大学先端科学技術研究センター 教授 香川 豊

15:10-15:30

～コーヒーブレイク～

15:30-16:00 次世代自動車燃料用エネルギーと材料への期待

トヨタ自動車株式会社 FC 開発本部 主査 広瀬雄彦

16:00-16:30 クリティカルメタルの資源と循環使用

東北大学多元物質科学研究所 教授 中村 崇

16:30-17:00 材料工学分野の人材育成

北陸先端科学技術大学院大学 特別学長顧問 牧島亮男

パネルディスカッション「グリーンニューディールと材料」

17:00-18:00 講演者他 司会 東京大学 理事・副学長 前田正史

閉会の辞：東京大学 理事・副学長 日本学術会議材料工学委員会副委員長 前田 正史

参加 要領：お手数ではございますが、「参加申込書」へご明記の上、お申込み下さい。

お問合せ先：東京大学生産技術研究所 前田研究室（担当：高田）電話：03-5452-6297 又はEメール：mtakada@iis.u-tokyo.ac.jp

日本学術会議 材料工学委員会シンポジウム

日本の生きるべき新しいパラダイムと材料学

参加申込書

【日時】2010年1月29日（金）13時から18時
（受付開始：12時30分）

【会場】日本学術会議 講堂
東京都港区六本木 7-22-34
電話：03-3403-3793

【定員】300名
定員を超過し、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

【参加費用】無料

【参加要領】参加申込書に必要事項をご記入の上、
E-mail 又は FAXにてお申込み下さい。

【参加申込 及び お問合せ先】

東京大学生産技術研究所 前田研究室 担当者：高田

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 電話：03-5452-6297 FAX：03-5452-6299



<申込先>

E-mail : mtakada@iis.u-tokyo.ac.jp 又は FAX : 03-5452-6299

所属名	
役職	
ふりがな	
氏名	
住所	〒
Eメール	
TEL	